

～税務署員を装った「振り込め詐欺」にご注意ください～



税務職員を装い、現金自動預け払い機（ATM）を操作させ振込みを行わせる「振り込め詐欺」による被害が発生しています。

被害に遭わないための注意事項

納税者の皆様が予期せぬ被害に遭わないよう、次の点にご注意願います。

- 1 税務職員が納税者の皆様に電話でお問い合わせする場合は、提出していただいた申告書等を基にその内容をご本人に確認することを原則としております。
- 2 税務署や国税局では、還付金受取のために金融機関等の現金自動預け払い機（ATM）の操作を求めるとはなりません。
- 3 税務署や国税局では、国税の納税のために金融機関の口座を指定して振込みを求めるとはなりません。

随 筆

本年 3 月、町屋の老舗割烹料理店「三忠」がその暖簾を下ろした。法人会等でも利用させて頂いたそのお店が今解体を待っている。跡地には高層マンションが建つそうだがふと疑問が芽生えた。確か敷地々下は、2 階建ての千代田線が北千住方向東へと転換して行く曲がり角である。そして地下鉄工事期間中、隅田川の下をシールド工法で潜り抜けるため土砂搬出の工事拠点となっていた重要な場所でもあった。第一期開通区間である北千住～大手町間の完成を待ってこの工事基点も閉鎖され、土地所有者である「三忠」さんに返還された後、昭和 45 年料理店として建築再開店され以後 46 年間営業して来たことになる。

ところで私は、千代田線開通による利便性を多くに享受出来た一人としてこの経緯を思い出に残しておきたい。私は、昭和 44 年 4 月足立区西綾瀬の都立江北高等学校に入学した。入学当時通学は、京成町屋～日暮里乗換～常磐線綾瀬という経路を辿ったが、常磐線には SL も運行されていた頃で茶色の省線電車（古いか？）で通ったことを

記憶している。そしてその年 12 月待ちに待った千代田線第一期開通区間として、北千住～大手町間が完成 通学経路も千代田線町屋～北千住乗換～常磐線綾瀬と変更になった。

余談だが、綾瀬駅前（現在のヨーカ堂あたり）には、金魚屋の溜池しかなく大変のどかな田園風景だった。そして高校 3 年の昭和 46 年 4 月 20 日、綾瀬～北千住間が開通（実際には、車庫が北綾瀬にあった関係で第一期開通時より回送車両の運行はしていた）町屋～綾瀬間乗換無しで通学出来るようになり、30 分以上の時間短縮と定期代の減額が図られ最終一年間は快適な学校生活を送らせて頂いた。また学年毎に通学ルートが変更になるという貴重な体験の三年間でもあった。

そして着工から 50 年が経過し交通インフラは益々拡充便利になって行くが、当時駅ホームの位置をめぐり都電を挟んで町屋側か、荒川側かの設置論争があったそうだ。当時の商店街組合が、町屋側への配置を拒否したと聞き及んでいる。何故？今は昔、後戻り出来ないこの決定が、町屋再開発にどのような変遷をもたらしてきたのか検証の時かもしれない。跡地にどんな建物が出来るのか？そして商店街は、マンション街に様変わりして行く。

雑感

町屋支部長 半田眞三